

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
部 長	南谷 かおり
外来副看護師長	新垣 智子
看護師	谷口 美晴(2月から)
保健師	張 鈺豊(12月末まで)
国際医療コーディネーター	石井 葉子
国際医療コーディネーター	難波 幸子
国際医療コーディネーター	木村 ガーリー
国際医療コーディネーター	リュウ キン フォーン
事務員	廣中 司
協力医師 (膠原病内科部長 兼リウマチセンター長)	入交 重雄
協力医師 (総合内科・感染症内科)	三島 伸介

—概要—

国際診療科は、その前身となる国際外来(2006年4月開設)の機能強化を目的として2012年11月にスタートし、医療通訳サービスの提供、院内資料の翻訳、受診に関する問い合わせ対応など、外国人が安心して医療を受けられるような様々な支援業務を行っている(診療は行っていない)。

業務の中核となる医療通訳サービスは、当院を受診する外国人患者さんに対し英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語で受付から検査、診察、会計まで付き添い通訳を行うもので、無料で利用できる(提供日時は言語により異なる)。開始以来通訳件数は毎年増加しており、利用者は泉州地域在住の外国人が大半を占めるが、関西国際空港の対岸という立地に加えて近年の訪日観光客の増加に伴い、外国人旅行者の割合が増えつつある。

医療通訳を担当するのは当院に登録している有償ボランティア通訳者である(2016年度末時点で約80名)。経験や語学力に応じて「医療通訳」「メディエーター」「認定外国人サポーター」の3つの区分を設け、新規登録者はまず認定外国人サポーターとして活動し、経験豊富な医療通訳の指導のもと、現場研修(OJT)を通じて医療通訳のいろはを学んでいくシステムとなっている。日本では医療通訳の整備は端緒についたばかりであり、このようなOJT型の取り組みを行っている機関は全国的にも数少ない。今後ますます需要が高まると思われるこの分野において、当院は「現場に根差した」医療通訳者養成という重要な役割を担っていると見える。同時に、多言語を話す医療者のフォローアップのもと、「常駐型」の医療通訳サービスを提供していることも当院の特色の一つである。

他の特筆すべき取り組みとしては、2013年度から協力医

師の入交医師による米国退役軍人健診を実施しており、国内における数少ない実施機関の一つである。また、職員を対象に月1回ネイティブ講師による医療英会話講座を開催している他、当院は2015年から日本医学英語検定試験の会場の一つとなっており、スタッフの語学力の育成・啓発にも力を入れている。

なお、外国人患者受入れ体制に関する客観的評価として、当院は外国人患者受入れ医療機関認証制度「JMIP」(バージョン1.1)の認証を有している他、厚生労働省による「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」の拠点病院にも3年度連続で選定されている。

国際診療科を中心とした当院のこれらの取組や実績は広く知られるところとなり、他の医療機関からの相談や見学依頼も多い。地域の国際医療の拠点として、また日本の医療通訳制度の推進者として、一層の貢献をしていきたい。

—実績—

(1) 2016年度国籍別通訳件数

国籍別通訳件数	
中国	415
フィリピン	188
ペルー	180
ブラジル	128
バングラディシュ	102
コロンビア	53
アメリカ合衆国	40
日本	38
台湾	31
スリランカ	21
オーストラリア	17
スイス	12
タイ	11
イギリス	9
ラオス	8
韓国	7
ニュージーランド	7
インドネシア	7
ドイツ	7
ボリビア	6
フランス	6
マレーシア	6
イタリア	6
スペイン	6
パラグアイ	5
トルコ	4
パキスタン	4
ロシア	3
カナダ	2
グアテマラ	2
ベトナム	2
フィンランド	2
不明・その他	64
計	1,399

(2) 2016年度言語別通訳件数

言語別通訳件数	
英語	471
ポルトガル語	124
スペイン語	265
中国語	427
タガログ語	89
その他	23
合計	1,399

(3) 2016年度内容別通訳件数

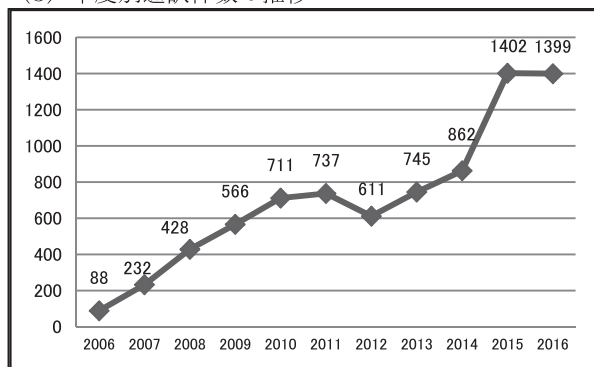
内容別通訳件数	
診察	874
会計	648
検査	443
説明・相談	433
受付・予約	367
薬	336
処置・手術	121
診断書等	114
翻訳	7
その他	205
合計	3,548

※「その他」には電話対応の件数も含まれる。

(4) 2016年度診療科別通訳件数

診療科目別通訳件数	
内科	173
循環器内科	15
神経内科	1
呼吸器内科	19
消化器内科	78
腎臓内科	36
血液内科	59
糖尿内科	48
小児科	142
外科	26
脳神経外科	8
整形外科	54
形成外科	42
心臓血管外科	2
歯科・口腔外科	10
泌尿器科	93
産婦人科	361
皮膚科	24
耳鼻咽喉科	74
眼科	13
救急外来	44
国際診療科	5
健康管理センター	17
救命救急センター	86
その他	59
合計	1,489

(5) 年度別通訳件数の推移



—今年度の成果と反省点—

昨年度に引き続き通訳件数の伸びが顕著であった英語と中国語について、2017年1月より通訳対応日を1日ずつ拡充した。これにより英語は平日月曜日から金曜日の毎日、中国語は月曜日と火曜日にボランティア医療通訳が待機することとなり、外国人患者の受入れ体制強化ならびに通訳者のOJT機会の増加につながった。また、大阪大学主催の医療通訳養成コースの現場研修先として協力を継続し、今年度は34名の研修生を受け入れ好評を得た。

そして、2017年2月には厚生労働省の「外国人患者受入れ環境施設整備事業」に採択された。これは、外国人患者に安心・安全な医療サービスを提供するために医療機関の施設整備を支援するもので、国際診療科は一層の体制充実に向けて、外国人向け健診を実施している健康管理センターと共に3階に拡張移設することになった。同事業では移設工事と同時に院内のWi-Fi環境の整備も実施し、懸案事項である遠隔通訳導入に向けて大きな一歩となった。

—来年度への抱負—

昨年度よりトライアルを続けている遠隔通訳サービスの導入を実現し、時間外や通訳不在の時間帯の体制強化を進めたい。

また、医療通訳者にとってさらに魅力的な研鑽の場となるよう、OJT制度の見直しに取り組む。